

令和元年度事業概況報告

I 活動の概況

当法人会は、活動の原点である「税」に関し、税制改正要望や普及啓発活動を積極的に努めました。このほか、会員が減少する中、新入会員の拡大に努め、健全経営を目指しました。

また、令和元年10月1日の消費税の引上げに対する研修会の実施や啓発活動に積極的に取り組むとともに、税率引き上げ後の消費税の申告事務の研修会を実施しました。

このほか、魚津税務署や魚津間税会、魚津税務連絡協議会等と連携して研修活動を実施しました。

青年部では、次代を担う子どもたちに部会員の協力で租税教室を開催し、法人会の基本であります税の普及啓発に努めました。また、女性部では、税に関する絵はがきコンクールを実施し、税の大切さを広く普及啓発する活動を展開したほか、女性フォーラム富山大会を開催し成功裏に終えました。

II 主な事業活動

1. 公益目的事業について

(1) 税制改正への提言活動

令和2年度税制改正の提言に向け、全法連からのアンケートを当法人会の税制委員等の役員30先にご協力をいただき実施いたしました。

全法連では、アンケート結果を基にして提言を取りまとめ、10月開催の全法連三重大会において採択しました。全法連では、この提言を受け国及び関係省庁並びに各政党に要望活動を展開しました。

当法人会では、正副会長により地元選出国會議員及び管内市町村を代表して魚津市長並びに同市議会議長に要望実現に向け支援要請を行いました。

その結果、デフレ脱却と経済再生を確実なものとするため、研究開発税制の見直し等が行われました。また、都市・地方の持続可能な発展のための地方税体系の構造の観点から、特別法人事業税及び特別法人事業譲与税の創設等が行われました。

法人課税では、中小法人等の法人税の軽減税率の特例及び中小企業向け投資促進税制の延長等が行われました。また、中小企業の事業活動に災害が与える影響を踏まえて事前防災を促進する観点から、事業継続力強化計画（仮称）に基づく防災・減災設備への投資に係る特別償却制度が創設されました。

資産課税では、個人事業者の事業承継税制の創設、事業用小規模宅地特例の見直し等が行われました。

改めまして税制改正要望にご尽力いただきました関係機関並びにアンケート調査にご協力をいただきました税制委員及び役員、会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

(2) 社会貢献・税の啓発活動の充実

将来の地域社会を担う子どもたちの心身の健全な発達を支援するため、公立図書館に図書購入費の一部を助成すること及び小学生に税に関する各種の教室や広報活動を通じて、広く税の大切さを深める活動を行いました。

①「児童向け図書の購入費用助成」事業

- ・対象団体：管内8市町村
- ・交付団体：2町1村（立山町、上市町、舟橋村）

②「租税教育」事業

- ・管内小学校：24校で計26回 当会青年部会員が講師となり開催いたしました。
- ・受講児童総数： 1,030名

③「第10回税に関する絵はがきコンクール」募集事業

- ・管内小学校42校：配布数3,338枚
- ・絵はがき応募者数：915名
- ・絵はがき入選者：10名には各々図書カード贈呈

絵はがきコンクールの入選作品など40点を魚津税務署の協力で、確定申告期間中5階待合室に掲示させていただきました。作品のレベルが年々向上していると実感しています。

(3) 研修活動・講演会活動の充実

会員企業等に各種自己啓発支援事業として、特に税法・税務は法人会事業の根幹とし、講師に税務当局担当官、及び地区税理士各位等のご支援のもと研修内容の充実を図りました。また、会員に必要と思われる税制以外の労働問題等について、関係機関のご協力を得て実施しました。

研修会の実施に当たり、広く市民にも開放していることから新聞やホームページにも掲載してPRに努めました。その他、実施状況は以下のとおりです。

| | | | |
|--------------|----------|-------------|-------------|
| ① 定例研修会 | 9回 | 787名 | |
| ② 特別講演会 | 2回 | 257名 | |
| ③ 支部研修会 | 7回 | 39名 | (支部役員会出席者数) |
| ④ 青年・女性部会研修会 | 5回 | 139名 | |
| ⑤ 新設法人説明会 | 2回 | 10名 | |
| ⑥ 決算期別研修会 | 3回 | 228名 | |
| ⑦ 年末調整説明会 | 3回 | 532名 | |
| 計 | 31回 | 1,992名 | |
| | (前年度31回) | (前年度2,111名) | |

なお、上記中で一般市民の参加者は主として②の「特別講演会」に45名、その他定例研修会では、消費税に関するものに参加者がいました。

上記①の定例研修会参加者には経営参考資料として、「税制改正のあらまし」「働き方改革企業がやるべき実務対応」「会社取引をめぐる税務Q&A」「定年前後のしくみと手続 年金・保険・税金」「便利でわかりやすい会社税務のてびき」「令和2年1月からの源泉徴収・年末調整実務はこう変わる！」などの冊子を無料で配付いたしました。

(4) 広報活動の充実

ホームページ、会報誌を通じて税の啓発に資する情報の提供、また、租税教育事業、助成金事業について、地域社会貢献活動面から地方紙、TV局及び、地域ケーブルTV局等の協力を得て法人会のイメージアップ、知名度向上に寄与できたものと思っております。

① 会報誌「明日香」は、税法について紹介するなど紙面を一層充実させました。

なお、全法連発行の「ほうじん」も同時期発行物を同封して送付しており、相乗効果を図りました(公共及び友誼団体窓口等にも同様配布中)。

② 魚津法人会ホームページは常時更新に努め、各種広報と共に情報提供や情報公開を逐次行いました。

2. 組織・財政基盤の強化について

(1) 組織の強化充実

会員加入率45.0%を目標として、特に後期に強化期間を設定し、各支部共々増強活動を推進致しました。しかしながら、保険3社のご尽力等にもかかわらず、昨年に続き目標値を下回り、下記のとおり加入率が43%を割り込むことになりました。全ての支部で減少しました。

会 員 移 動 状 況

| 項 目 | | 会 員 数 | 加 入 率 | |
|----------------------------|--------|---------|-------|------|
| 平成 31 年 3 月 末 | | 1,332 社 | 43.3% | |
| 元 年 度 中 移 動 | 入 会 | 9 社 | | |
| | 退 会 | 38 社 | | |
| | 内 訳 | 脱会 | | 8 社 |
| | | 解散等 | | 19 社 |
| | | 転出・合併等 | | 7 社 |
| | | 休業 | | 1 社 |
| | | 喪失 | | 3 社 |
| 令和 2 年 3 月 末 | | 1,303 社 | 42.3% | |

(2) 青年部会・女性部会の充実

① 青年部会

活動の中心である「租税教育活動」事業が前年に引き続き、管内小学校42校のうち24校で26回の租税教室を開講し学校からも好評でした。昨年度よりも1校、4回の減少でした。

② 女性部会

女性部会のあり方指針に則り、従来より継続中の下記諸事業につき、積極的に進化・発展させ拡充に努めました。

平成31年4月に「法人会全国女性フォーラム富山大会」がテクノホールで開催され、全国から女性経営者や幹部の方々1,621名が参加され成功裏に大会を終えました。

- ・地域社会貢献活動・・・管内小学校（5～6年生）児童を対象に「税の絵はがきコンクール」を実施し、「税」の啓発活動の拡充を図りました。
- ・異業種交流会・・・・・・・・多種多様企業の会員が集い、女性パワー・知恵・行動力・やる気など新鮮な発想も生まれ、和やかに楽しく本音で語り合う“会”で、仲間意識が深まりました。
今年度は、“ときめきながら健康に”と題して講演会を行いました。軽い運動を交えての和気藹々の交流会になりました。
- ・先進地視察研修会・・・・「地元再発見」をテーマに黒部市のYKKセンターパーク、パッシブタウン。最後にセレネ美術館で、令和記念特別展「田淵俊夫―至極の日本画」を鑑賞し、黒部の自然を匠に描かれた作品を堪能しました。女性会員の交流が深まり心が癒される一日となりました。
- ・各種「エコ」活動・・・・「いちごプロジェクト」・「とやまエコライフ・アクト10」活動の推進を図りました。

(3) 福利厚生事業について

会員各位のご理解により、福利厚生制度保険の受託3社と連携して重点商品であります「大型保障制度」、「ビジネスガード」、「がん保険」等を中心に制度の普及啓発活動に努めました。

また、福利厚生制度50周年に向けた「想いをつないで50年『会員企業を守りたい』キャンペーン」を推進しました。

その他、未会員の加入促進にも努めました。下記の表は期中の各保険金の支払い明細です。

大型保障制度保険金・給付金支払状況

(平成31年4月～令和元年12月末)

| 区 分 | 件 数 | 金 額 | 備 考 |
|-----------------|------|--------|-----|
| 死亡保険金 (大同) | 0 件 | 0 万円 | |
| 手術給付金 (〃) | 14 件 | 191 万円 | |
| 入院・通院給付金 (〃) | 22 件 | 151 万円 | |
| 後遺障害保険金 (A I G) | 0 件 | 0 万円 | |
| その他 (〃) | 13 件 | 237 万円 | |
| 合 計 | 49 件 | 579 万円 | |

大同生命保険株式会社
A I G 損害保険株式会社

「がん保険制度」支払状況

(平成31年4月～令和2年3月)

| 区 分 | 金 額 | 備 考 |
|-----------|------------|-----|
| 診 断 給 付 金 | 560.0 万円 | |
| 入 院 給 付 金 | 392.5 万円 | |
| 死 亡 保 険 金 | 0.0 万円 | |
| そ の 他 | 416.5 万円 | |
| 合 計 | 1,369.0 万円 | |

アフラック生命保険株式会社